

704 号・完了稿・はやぶさ 2 “あきらめない力”が、人生を面白くする。④「託す」経営の価値 2025年06月27日(金)

中小企業経営者列伝、第16弾。4回シリーズ

挑み続ける美魔女 77 歳

“あきらめない力”が、人生を面白くする。

「赤ん坊と二人きりの団地住まい。知り合いも無く、夫を待つだけの生活」
から

「伝えたい」と思い教壇に立ち、「学びたい」と思い大学に通い、「変えたい」と思い起業した。

25 年で上場企業や病院、スポーツクラブ、カルチャースクール、介護施設を相手に
講師、インストラクター300 人を抱え派遣する企業に成長させた

株式会社ジェイ・コミュニケーション・アカデミー

代表 治面地 順子氏

【済】第1回「憧れ」からのスタート

【済】第2回 専業主婦から講師、大学生を経て起業家へ

【済】第3回 思った通りにはいかない

第4回「託す」経営の価値

~~~~~

第4回「託す」経営の価値

——企業成長後の充実と新たな夢——

【目次】

■はじめに

■“手放す”ことで見える、新たなステージ

■「社長」ではなく、「仕掛け人」に戻る

■経営とは、「美しいバトンリレー」

■最後に——人生に「卒業」はない

■編集後記

「経営者がいちばん難しいのは、“託す”ことかもしれないわね」

77 歳を迎えた今も、スラリとした姿勢に品と知性がにじむ治面地順子さんは、そう語りました。  
第1回から読んできた読者の皆さんにはおなじみですが、JAL のスチュワーデスから一転、子育て中に起業し、資格支援・人材派遣を軸に事業を拡大。全国で活躍するインストラクターを300 人以上抱える企業を築き上げてきた女性です。

その道のりは決して平坦ではありませんでした。英語塾から始まり、教材開発、出版、企業研修、アルファビクスの普及…手を伸ばす先々で壁にぶつかり、何度も「もうやめようか」と思った日があったと言います。それでもやめなかった。それが“あきらめない力”。

では今、なぜ「託す」という選択をしているのでしょうか？

### ■“手放す”ことで見える、新たなステージ

「私は、まだまだやりたいことがあるの。だけど、今の事業をずっと私一人で握っていたら、次の世代が育たない。会社は“自分のため”ではなく、“社会の役に立つため”にあるべきよね」

そう言って治面地さんは、数年前から段階的に「託す」準備を進めてきました。事業の柱である講座・研修の設計や運営は信頼できる社員に徐々に引き継ぎ、自身は、次の時代に必要とされる「新しいテーマ」——たとえば、薬に頼らないメンタルケアや、アクティブシニアの自己実現支援——へと軸足を移し始めています。

ここで、彼女の特徴的な姿勢が表れます。「自分がすべてやらなければ」という呪縛から自由になり、「この人になら任せられる」と思える人材を、育て、信じ、委ねる。多くの中小企業経営者が頭では理解しつつも、なかなか実行できないこの“勇気”を、77歳の治面地さんは軽やかにやってのけているのです。

### ■「社長」ではなく、「仕掛け人」に戻る

「最近では“社長”という肩書きが、なんだか私には重すぎてね(笑)」

冗談交じりに笑いながらも、実はこの一言に、彼女の次のステージが滲んでいます。

“社長”としての役割を一線から退くのではなく、“仕掛け人”として新たなムーブメントを起こす——それが、治面地さんが目指す新しい働き方なのです。

たとえば今、彼女が注力しているのは、国際メンタルセラピスト協会(IMTA)の活動。薬に頼らないセルフケアや、子どもたちの感情教育、セカンドライフを迎える人々への自己実現支援など、“未来志向のメンタル支援”を広めようと、全国で講演・研修を展開しています。

このIMTAもまた、後進の育成に力を入れており、全国の指導者とネットワークを築きながら、地域に根ざした“心の窓口”づくりを進めています。治面地さんは言います。

「自分一人が有名になることより、同じ志の仲間が日本各地で小さな灯をともしてくれる方が、社会は良くなると思うの」

この“集合知”の発想は、まさに今の時代に必要な経営感覚ではないでしょうか。

## ■経営とは、「美しいバトンリレー」

順子さんはこう語ります。

「私の役目は、これまでの経験を“資産”として後進に託すこと。そして彼らが自分のやり方で、新しい価値を作っていくのを見守ること。それが、経営者としての“最終章”の務めだと思うのよ」

託すとは、諦めることではない。ましてや逃げることでもありません。信じて任せること。未来を育てること。経営とは“支配”ではなく、“継承”である——その価値を、治面地さんは実践をもって示しています。

## ■最後に——人生に「卒業」はない

現在、治面地順子さんは「卒業」という言葉を使いません。

「仕事も、人生も、ずっと“進行形”。卒業なんて、しなくていいと思ってる。だって、人生は最期の一瞬まで、誰かに何かを伝えることができるでしょ？」

まさに、生涯現役。

77歳という年齢を感じさせないほど、彼女の目はキラキラと輝いています。まるで、「次は何をしようか」とわくわくしている少女のように。

## ■編集後記

「託す」という経営は、怖さと向き合う経営でもあります。けれど、そこには同時に“美しさ”が宿る。経営の最終章にあるべき覚悟と希望を、治面地順子さんはその背中で語ってくれました。

最終回までお読みいただき、ありがとうございました。次回からは、また新たな挑戦者の物語が始まります。

お楽しみに！

編集長 岩下一智 （株）Tiger・HosBiz センター・執行役員  
マーケット・クリエーター(MRC)

ご好評を博しました治面地 順子氏の連載は、以上で終わりとなります。

次回からは

社長の仕事を減らす、という成長戦略

「社長ひとりで全部やる」はもう限界——

仕組み化、資金繰り、人の悩み…。

結局すべて自分で抱えていませんか？

そんな経営の壁を乗り越えるヒントは、“社外”にあるかもしれません。

実際に社外の力を借りて成長した会社の事例や、

経営のヒントとなる発想を 4 回にわたってお届けします。

の第 1 話、

採れない時代に、“辞めない、自分で考えて動く従業員”はこうつくる

をお送りする予定です

お楽しみに！

~~~~~

■参考図書■Amazon 電子書籍&オンデマンド版

「理念経営道実戦教本」25 年 4 月 25 日発売【済】・・・定価：3300 円（税別）

B5 版 約 190 頁

委細は HP 等でご案内いたします。HP も 3 月 1 日よりリニューアルいたしました。

<https://rinenkeidoh.com/>

著者：(株)Tigre・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

[heart\\_gaia\\_gi@hosbiz.net](mailto:heart_gaia_gi@hosbiz.net)

~~~~~

バックナンバーは下記の URL を確認してください。

<https://rinenkeidoh.com/MailMagazine>

社名：変更のご案内

第 3 の創業として、理念経営道を全身全霊をかけて普及の取組んでまいりますとともに
持続可能な推進体制にするため「ティグレ社」とジョイントビジネス（JB）を組んで
小規模企業・中小企業が「地域・業界 No.1」となって、持続できるように

「創客 伴走型経営支援」をすすめてまいります。HP をリニューアルした暁には、
更に詳しくご案内させていただきますのでよろしくお願いします

新社名:::(株)Tigre・HosBiz センター（ティグレ・ホスビズセンター）

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を  
よろしくお願いします。

次回、第 705 号は

社長の仕事を減らす、という成長戦略

「社長ひとりで全部やる」はもう限界——  
仕組み化、資金繰り、人の悩み…。  
結局すべて自分で抱えていませんか？

そんな経営の壁を乗り越えるヒントは、“社外”にあるかもしれません。  
実際に社外の力を借りて成長した会社の事例や、  
経営のヒントとなる発想を 4 回にわたってお届けします。

の第 1 話、  
採れない時代に、“辞めない、自分で考えて動く従業員”はこうつくる

を、25・07・04(金)にお届けする予定ですので、  
楽しみにしててくださいね。

※なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、  
私たちは「世のため・人のため」になれない。  
とクルー一同尽力しております。

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。  
では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・・・・岩下一智・(株) Tigre・HosBiz センター・執行役員  
マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieidoh.com/Members>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

お問い合わせは <https://rinenkeieidoh.com/Contact> まで

．．．．

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)Tigre・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

[rinenkeieidoh.com/Members](https://rinenkeieidoh.com/Members)

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：[kazu\\_zohan@hosbiz.net](mailto:kazu_zohan@hosbiz.net)

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC